

教育委員会 10 月定例会会議録

1 日 時 令和 6 年 10 月 3 日 (木) 午後 1 時 30 分開会

2 場 所 三島市役所中央町別館 4 階 第 1 会議室

3 出席者

(委 員) 小塚教育長、竹林委員、佐藤委員、草間委員、飯島委員
(事務局) 鈴木教育推進部長、畠教育総務課長、中村学校教育課長、
沼上生涯学習課長、渡邊図書館長、及川文化財課長、
(書 記) 諏訪部教育総務課長補佐、風間教育総務課主事

4 傍聴人の人数 0 人

5 会議次第

- (1) 開会
- (2) 前回会議録の承認
- (3) 会議録署名人の決定
- (4) 各課の事業報告 (経過・予定の報告)
- (5) 教育長の報告
- (6) 教育推進部長の報告
- (7) 報第 6 号令和 7 年三島市二十歳を祝う式典について
- (8) その他
- (9) 閉会

6 議 事 (要旨)

- (1) 開会 小塚教育長が宣言した。
- (2) 前回会議録の承認 前回会議録を承認した。
- (3) 会議録署名人の決定 小塚教育長が竹林委員と飯島委員を指名した。
- (4) 各課の事業報告 (経過・予定の報告)
各課長が経過報告書及び予定報告書により報告を行った。

(竹林委員)

生涯学習課の予定報告に関して、10月27日に第1回目の事前研修会が予定されている三島市高校生公開討論会は、何回目の開催となるか。

(沼上生涯学習課長)

昨年度から開催し、今年度で2回目の開催となる。

(竹林委員)

参加予定の高校について伺う。

(沼上生涯学習課長)

日大三島、三島北、三島南、韮山、伊豆中央等市内及び近隣の高校から14人が参加予定である。

(竹林委員)

事前に討論テーマは提示されるのか。

(沼上生涯学習課長)

1回目の研修の際に「まちづくりにおけるふるさと納税」という討論テーマを提示し、併せて講師の方から討論の進め方などの説明を行い、2回目の研修の際にグループディスカッションを行う予定である。

(竹林委員)

研修は何回開催するのか。

(沼上生涯学習課長)

事前研修が2回、本番の討論会が1回、事後研修が1回である。

(竹林委員)

討論会の開催が参加する高校生や周囲の高校生に良い影響を及ぼし、市の行政に関心が高まれば、非常に意味のある催しであると考えている。

(5) 教育長の報告

- 今年度から、三島市は「絵本のまち三島」の取組を進めている。現在図書館では、三島市にゆかりのある絵本作家の宮西達也先生及びえがしらみちこ先生のコーナーを設けている。また、9月10日は大通り商店街の一角に、えがしらみちこ先生がデザインされた「水の都、三島で子育て」という文字とかわいい子どもたちを描いたデザインマンホールが設置された。図書館の展示、デザインマンホールともに、多くの方にご覧いただきたいと思う。自分自身も、幼稚園児や小学

生のときに、絵本を繰り返し何度も読んでいたが、内容や絵は今でも覚えている。また、大人になってからその絵本を読み返すと、休み時間に友達と一緒に読んでいた情景や当時の学校生活の様子も頭の中に浮かんでくる。絵本はその内容が素晴らしいことはもちろんであるが、当時のことを思い出して、ほのぼのとした気持ちにさせてくれる。このように、絵本は、何歳になっても私たちの心の栄養となり、生活に潤いや喜びを与えてくれ素晴らしいものである。今後も、読み聞かせや絵本に触れる機会をさらに充実させ、絵本の魅力を多くの人に感じていただけるよう取り組んでいく。

•10月1日に、環境衛生ポスターと標語の表彰式を行った。ポスターには小学生92点、中学生114点、標語には小学生132点、中学生495点の応募があった。このように多くの三島の子どもたちが、環境衛生問題に関心を持っていることを大変うれしく思う。ポスター、標語ともに素晴らしい作品ばかりで、ごみ問題、リサイクル、海洋汚染、地球温暖化対策といった地球規模の課題をとらえた作品に加えて、ふるさと三島市の美しい環境を守り続けたいという作品も多く見られた。子どもたちが美しく品格のある三島の街に喜びと誇りを感じていることが分かる。ネイティブアメリカンの植物学者は、「自然は祖先から譲りうけたものではない。子孫から借りているもの。」と言っている。まさしく、子どもたちのポスターや標語は、子孫の代まで地球の環境を守らなければならないことを訴えている。私たち一人一人が、できることについて取り組むことの大切さを、子どもたちから教わっているように感じる。

(6) 教育推進部長の報告

ア 関連事業等の報告について

(ア) 8月及び9月の入札状況について説明した。

◎時の鐘耐震診断業務委託

(イ) 市議会9月定例会の議案審議や一般質問について説明した。

◎議案審議

- ・令和5年度三島市一般会計歳入歳出決算認定について
9月12日(火)の福祉教育分科会に付託され、10月1日(火)の定例会最終日の議案審議にて、予算決算特別委員会委員長から報告後、認定された。
- ・令和6年度三島市一般会計補正予算について
債務負担行為の補正2件が可決された。(三島市育英奨学金貸付金、中学校給食共同調理場調理等業務委託)
- ・三島市教育委員会委員の任命について
望月保宏氏の教育委員任命について同意された。

◎一般質問

◆岡田 美喜子(新未来21)

○学校教育の環境整備について

- ① タブレットを使用した授業の現状と実体験やコミュニケーションの充実について

- ② 毎年新年度を迎える際、児童生徒のアカウント管理等の更新が必要になるが、市町によっては教師の負担となっている事例を聞く。三島市の対応状況はどうか。
- ③ 教職員の ICT 活用指導力向上の取組みと、ICT 活用をサポートする支援員の業務内容や役割、今後の見込みについて
 - (1) 教職員の ICT 活用指導力向上の取組み
 - (2) ICT 活用をサポートする支援員の業務内容や役割、今後の見込みについて
- ④ タブレットを長時間使用することや登下校時にデバイスを持ち運びすることによる子どもたちの身体的負担への対策について
- ⑤ 家庭・技術科の教師の配置状況と授業等への影響について
- ⑥ 更新に向けてタブレットの仕様等の検証や今後のスケジュールについて

◆沈 久美 議員（改革みしま）

○令和7年度から4年間使われる教科書について（主に中学校公民について）

- ① 義務教育において教科書とはどういうものか。また、その選び方（採択）は現在どのようになっているか。
- ② 令和7年度から中学校で使われる新教科書全般における特徴および採択結果
- ③ 三島市（田方地区）が採択した「公民」教科書について
 - (1) 学習指導要領が掲げる公民的分野の目標、および重要項目
 - (2) 教科書で目標を達成していくことについての見解

◆鈴木 文子 議員（公明党）

○しずおかバーチャルスクールの周知と活用について

- ① 本市におけるバーチャルスクールの周知と活用への取り組みについて

◆宮下 知朗 議員（新未来21）

○指定管理者制度導入後の放課後児童クラブの運営状況

- ① 支援員不足および待機児童の解消について状況を伺う。
- ② 開所時間、開所日数の拡大に伴う利用状況および評価を伺う。
- ③ 民間事業者のノウハウ・アイデアを活かしたサービスの提供について状況を伺う。
- ④ 入会案内に「午前中に入学式や卒業式がある日の午前中はお預かりできません」とあるが預かりを可能とすることができないか伺う。

◆河野 月江 議員（日本共産党）

○小中学校給食無償化の実施を求めて

- ① 学校給食に係る経費の現況および市と保護者の負担額について
- ② 学校給食無償化をめぐる昨今の状況の変化への認識
- ③ 学校給食法及び学習指導要領における給食の位置づけと当市での実践
- ④ 学校教育における受益者についての認識
- ⑤ 子育て世帯家計に占める教育費についての認識
- ⑥ 保護者をはじめとする市民からの要望への認識
- ⑦ 当市における小中学校給食無償化実施への考え

◆甲斐 幸博 議員（緑水会）

○ボランティア活動支援について

- ① スクールガード活動に対して感謝の気持ちをどのように表しているのか。
- ② 感謝の気持ちを示すと同時に、活動していただいた方に対する補助を検討してはどうか。

◆石井 真人 議員（覚悟の会）

○坂小学校（小規模特認校）の複式学級への回避策について

- ① 複式学級を回避した他市の事例、回避の方法。具体的にどのようなデメリットがあるか。
- ② 市費で採用した場合の教員の追加費用（人件費等）と予算確保の考え方は。また、学級編制が最終的に決まる時期はいつか。
- ③ 市民窓口や移住定住部署などに来庁する転入者に対し、坂小学校を積極的にPRできないか。

◆秋山 恭亮 議員（改革みしま）

○安全安心で世界一幸せを感じることができる三島市の実現について

- ① 通学路の安全安心について。特に南小学校東側の市道での対応を伺う。

◆古長谷 稔 議員（改革みしま）

○第2期のGIGAスクール構想に向けて

- ① GIGAスクール構想6年目以降のハードウェア導入計画や機種選定など現状と課題
- ② 県単位での共同購入の議論がある。メリットとデメリット、現時点での方針を伺う。
- ③ タブレット導入4年目を迎える中で、具体的事例を踏まえて、教室での利活用、LTE機能を用いた教室外での課外活動での利活用など、導入効果をどのように評価しているか。
- ④ 家庭での持ち帰り学習におけるタブレットの活用と、教育効果について考え方を伺う。

◆佐野 淳祥 議員（緑水会）

○千貫樋の保全について

- ① 千貫樋に対する市の取り組み（学校教育、観光資源、歴史保全）

○新庁舎建設事業と中心市街地ならびに地域の活性化について

- ① 錦田公民館へ市民サービスコーナーを設置しない理由と老朽化する建物について

◆野村 諒子 議員（緑水会）

○少子化が進んでいる現状を踏まえた教育のあり方への取り組み

- ① 三島市の5歳児から1歳児までの学年ごとの人数。1歳児の学年のクラス数の見込み。
- ② 市民への周知、市民アンケート等の予定はあるか
- ③ 「三島市の教育のあり方について」の取り組みの進捗状況はどうか

イ 主な事業等の予定について

(ア) 第62回市民芸術祭

- (1) 日 程 10月3日(木)～10月27日(日)
- (2) 会 場 市民生涯学習センター・市民文化会館

(イ) 三島市総合防災訓練

(1) 日 時 10月6日(日) 午前9時～11時30分

(2) 会 場 南二日町多目的グラウンドほか

(3) 実施予定訓練

- ・消防団ドローン隊情報収集
- ・バイク隊情報収集
- ・車両からの救出
- ・道路、ライフライン復旧
- ・応急危険度判定 ほか

(ウ) みしま子育て支援フェア

(1) 日 時 10月10日(木)～14日(月・祝) 午前10時～午後4時

(2) 会 場 イトーヨーカドー三島店 センターコートほか

(エ) 日本一のこどもハロウィン・パレード in みしま 2024

(1) 日 時 10月20日(日) 午前11時～午後4時

(2) 会 場 三島大通り商店街

(3) パレード参加対象者 小学生以下(保護者同伴) 定員2,024名

(4) 主 催 大通り商店街まつり実行委員会

ウ その他

(ア) 衆議院議員総選挙について

(竹林委員)

市議会9月定例会の報告の中で、岡田議員から学校でのタブレット使用について質問があったが、タブレットを導入することでデメリットは生じているのか。

(中村学校教育課長)

使用するデータ量については1人につき1月あたり5GBを上限としているが、これを超えて使い過ぎてしまう生徒がいるのが課題である。

(竹林委員)

家に持ち帰って使用できるのは良いことであるが、一方で悪影響を及ぼす懸念もあるかと思う。フィルタリング機能や使用時間の制限が設けられているようだが、夜になると制限がかかる仕様か。

(中村学校教育課長)

タブレット自体は使用できるが、YouTube 等にアクセスできないように時間制限をかけている。

(竹林委員)

スマートフォンを持っている子が多く、夜更かしをして朝起きることができず不登校になってしまう事例が多い。家庭での指導が行き届いておらず子どもがいつでも使用できる状況になっている。情報リテラシーやネットモラルに関しては学校での教育も行った方が良いと思う。また LTE モデルの導入は県内で 4 市町のみと伺ったが、多額の費用がかかるからか。

(島教育総務課長)

LTE の通信料については、国の交付金の対象外であり、費用面の負担が大きくなるからであると考える。

(竹林委員)

次のタブレットの更新の際も三島市は LTE モデルを導入する予定であるか。

(島教育総務課長)

その予定である。LTE 通信のメリットを享受しているため、Wi-Fi での対応は三島市の教育環境の後退につながると考える。

(教育長)

通信が途切れる端末が少しでもあると、それだけでクラス全体の学びが止まってしまうため、校外に限らず校内に関してもどこでも通信が途切れる心配の無いところは LTE モデルの強みである。

(7) 報第 6 号令和 7 年三島市二十歳を祝う式典について

沼上生涯学習課長から説明があった。

※報告承認

(8) その他

(草間委員)

夏休み明けの不登校の状況はいかがか。

(中村学校教育課長)

今年度の夏休み明けに新たに不登校の傾向になっている子どもはいないが、8 月末時点で昨年度の状況と比較すると、小学校で若干人数は増加し中学校は 5 名減少している。中学校は校内支援室の効果が出ているといえる。

次回日程について

(諏訪部教育総務課長補佐)

次回の11月定例会は、11月8日(金)の午後1時30分から中央町別館第1会議室にて開催予定。

(9) 閉会 午後2時30分

上記のとおり会議録を承認する。

令和6年11月8日

署名人

竹林重行

署名人

飯島 映